

夏休み前 小学3年生の親子 「若者の水難救済ボランティア教室」開催

社団法人琉球水難救済会〔会長比嘉榮仁〕では、6月26日沖縄県浦添市立宮城小学校において、NPO法人日本ライビング協会沖縄県支部〔支部長豊見山明久〕及び第十一管区海上保安本部救難課の協力を得て、同校小学校3年生を対象に親子「若者の水難救済ボランティア教室」を開催しました。

教室は、夏休み前に、親子のふれあいや海に対する認識を高めるなどして楽しい夏休みを迎えて貰うために、PTA役員が父兄に呼びかけ開催したところ、多くの父兄や学年担任の先生方も参加し、生徒65名、父兄62名が参加しました。

同校での教室の開催は、平成20年に低学年1年生を対象に、今年は、3年生を対象に教室を開催し、生徒が継続して参加できたことは、大変意義深い教室でした。

生徒達も体育館館内でのスポーツゲームやプール内でのライフジャケット着用しての浮力体験などに目を輝かせながら楽しんでいました。

また父兄もわが子を見守りながら子供と一緒にプールに入り、一生懸命に対応しており、親子のふれあいも見られ楽しい教室で好評でした。

〔投稿 社団法人琉球水難救済会〕



宮城小学校3年生の皆さん